

腐食センターニュース

*****平成7年3月1日

千葉県機械金属試験場における腐食相談

当試験場では公設の試験研究機関として、おもに中小企業から様々な依頼試験や技術相談を受けている。その中には材料や装置の腐食防食に関する試験・相談がかなりの割合を占めている。技術相談に限れば、平成5年度においては全体で553件あるが、このうち腐食防食に関するものは46件(8.3%)である。相談の目的別に大別すると下表左のようになる。腐食原因に関する調査が過半数を占めているが、腐食の基礎的な知識があれば解決するものもかなり見受けられる。材料別に分類すると下表中央のようになる。ステンレス鋼と耐食めっきが多いが、これはそれらに対する信頼が高いことの反映ともいえる。腐食環境で分類すると下表右のようになる。屋内を含む大気環境がほぼ半分を占めている。以前多かった土中埋設管の腐食がほとんどなくなっているが、これは知識が広まったことと対策が進んだためと思われる。また、近年の傾向として、美しさの要求される装飾品の変色や、信頼性が必要とされる電子部品の腐食など、わずかな損傷でも問題になる事例が増えてきている。公設機関での分析や試験はともかく、腐食相談に対する解析・対策は必ずしも十分ではない場合もある。その点、腐食センターでは各分野の専門家が集まって、様々な角度からの対応が可能であることから、今後も多くの期待を寄せている。

(K . N .)

相談の目的	件数	材料	件数 (重複あり)	環境	件数
腐食原因の調査	28	ステンレス鋼および耐食合金	14	大気	22
耐食試験法・評価法	10	めっきおよび表面処理	10	淡水	10
		炭素鋼および鋳鉄	9	化学薬品	8
材料・装置の防食法	6	銅合金	4	高濃	3
		アルミニウム合金	3		
耐食材料の選定	1	亜鉛合金	1	特殊環境	1
腐食の予測	1	その他(セラミックス、高分子)	4	環境特定なし	2
		材料特定なし	5		